

三原市立宮浦中学校第2学年 英語科学習指導案

単元名 : LESSON 7 Presentation

指導者 : 三原市立宮浦中学校 吉田 祐介

- 1 日 時 : 平成29年1月20日(金) 第5校時
2 場 所 : 2年3組教室
3 学年・学級 : 第2学年3組(39名)
4 単元名 : LESSON 7 Presentation

(1) 単元観

この単元では、プレゼンテーションが題材となっている。情報を視覚的に伝えたり、図や表などを使いながら情報や思いを伝えたりして、プレゼンテーションの技法を習得する。

言語材料としては、比較級・最上級が新出事項として出てくる。文法や語形変化など、多くの事項が出てくるので、まずは基本的な文の形を理解させ、比較級・最上級を使った簡単な文で身近なことや伝えたいことを表現させることが必要となる。写真や表の内容を述べたり、紹介したりする活動を取り入れるのに適した単元である。

また、本校CAN-DOリストの「話すこと(発表)」の「自分で調べたことについて発表資料を英語で作成し、その資料を見せながら、発表することができる」や「図やグラフなどの資料を用いながら、親しみのあるトピックについてメモを見て発表することができる」につなげて、プレゼンテーション力も養うことができる。

(2) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。

【知識】【スキル】	①課題解決能力	②表現力		
【意欲・態度】	③主体性	④協調性	【価値観・倫理観】	⑤公共心

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の2点に重点を置くものとする。

【知識】【スキル】

②表現力

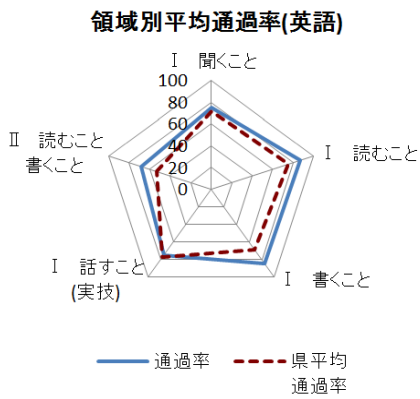
イラストや写真を見て、その状況を比較・最上級を用いて表現したり、前後につながるの文章を作成、ストーリー仕立てすることができる。

【意欲・態度】

④協調性

ペアワークやグループワークで、意見交流をしたり教え合ったりする中で、協力して課題解決をしようとすることができる。

(3) 生徒観 (調査結果からみる課題)



領域	宮浦中通過率	県平均通過率
I 聞くこと	74.8	71.2
I 読むこと	86.6	74.9
I 書くこと	83.9	68.3
I 話すこと(実技)	75.0	77.3
II 読むこと書くこと	68.3	53.0
設問 27 英文の数	4.9	4.4
全体通過率	78.2	69.6
タイプ I 通過率	80.0	72.6
タイプ II 通過率	68.3	53.0

番号	内容	あてはまる			あてはまらない		
		よく	やや	計	計	あまり	まったく
(1)	英語の勉強は好きです。	39.1	37.4	76.5	23.5	16.5	7.0
(2)	英語の授業はよく分かります。	47.0	39.1	86.1	13.9	11.3	2.6
(3)	英語の授業では、少ない人数で学習する方がよく分かります。	50.9	18.4	69.3	30.7	19.3	11.4
(4)	英語の授業では、自分の力に合った内容や方法、学習の進み具合などを選んで学習する方がよく分かります。	48.7	34.8	83.5	16.5	12.2	4.3
(5)	英語の授業では、学んだことの振り返りをしています。	38.3	36.5	74.8	25.2	16.5	8.7
(6)	英語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で見えるのか考えたりしています。	39.1	43.5	82.6	17.4	13.0	4.3
(7)	英語の授業では、分からない単語や熟語や自分が使いたい単語や熟語は、辞書を使って調べています。	43.9	29.8	73.7	26.3	21.1	5.3
(8)	英語の授業では、相手の声の調子やリズムを聞き、相手の意図を察しているのかを注意して聞き、それに答えるようにしています。	41.7	40.9	82.6	17.4	15.7	1.7
(9)	英語の授業では、物事を説明するために使った文法や構文などは、書き手にならなければならないことを意識しています。	35.7	47.8	83.5	16.5	14.8	1.7
(10)	英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。	25.2	40.0	65.2	34.8	28.7	6.1
(11)	英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。	27.8	33.9	61.7	38.3	29.6	8.7
(12)	英語の授業では、英語で文章を書くときは、自分の考えや気持ちなどを正確に伝えるように、一文一文を正確に書くことと、文と文のつながりには注意しています。	47.8	31.3	79.1	20.9	19.1	1.7

上のグラフと表は、平成28年6月に行われた広島県「基礎・基本」定着状況調査の領域別通過率で、本校と広島県を比較したものである。その下の表は、同調査の教科学習への意識調査である。上の表では「話すこと(実技)」に、下の表では(10)「英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。」、(11)「英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。」といった『表現の能力』に課題があることが分かる。

定期試験では、無解答であったり、語順がばらばらであったり等、英文を正しく書く力が定着していない。英文を書くことに苦手意識を強く持っていたり、英語の構文を理解していなかったりすることが要因だと考えられる。

(4) 指導観(指導改善のポイント)

本校の研究テーマは『コンピテンシーの育成をめざした学びの創造』～コミュニケーションを活用した授業の工夫を通して～』である。これを受け、この単元において、コミュニケーションを活用して、生徒に基本的な知識を習得させるとともに、表現力と協調性の育成を図っていく。

表現力の育成の手立てとして、毎時の授業の導入で、既習事項の定着を図っている。比較級-er と最上級-est の形を定着するためにインプットシートを使って口頭練習をしたり、構文を視覚で確認できるよう板書を工夫している。本学級の生徒全員が挑戦できるような段階を踏んだワークシートを用いて、知識習得を向上させたい。さらに、ドリル学習で構文の定着を図り、形容詞・副詞の語形変化や比較表現の構文を定着させたい。それらを用いた英文を書かせる。単語のアルファベットや最上級の the 等の欠落はよく見られる間違いなので、気をつけて指導する。そして、基本的な文の形を理解させ、比較表現を使った簡単な文で身近なことや伝えたいことを表現させる。語彙力が乏しかったり、間違いを恐れたりなど、英語で表現することに苦手意識を持っている生徒が多い。そういった苦手意識を克服させるために、授業では主語と動詞をはっきりさせたり、生徒が作成した英文を机間指導でアドバイスしている。また、発音することに苦手意識を持っている生徒も多いので、日頃から発音する機会を増やし、声量、発音、ジェスチャー等の相手意識を持たせたい。そして、個人活動のインプットでの単語発音や教科書本文の音読、ペアトークやスキット発表等を通して、英語を使う機会を増やして、苦手克服に努めている。また、指導者による Classroom English や英問英答の多用化、生徒のつぶやきやミスを拾い上げて上手く活用する授業の深化、生徒の学習意欲向上のための肯定的評価など、生徒が英語を使いたいと思うような場面を作る。

協調性の育成の手立てとして、ペア活動やグループ活動を多用し、様々な意見を交流したり教え合ったりすることで、新たな知識の習得や既存の知識に上乗せさせたい。

5 単元の目標と評価規準

単元の目標

- 比較表現(比較級, 最上級, 同等比較)の文構造を理解できる。
- 表, グラフを正しく読み取り, 英語で表現することができる。
- 聞き手が理解しやすくなるように工夫してプレゼンテーションをすることができる。

単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①聞き手が理解しやすくなるようなプレゼンテーションになるよう, 工夫しようとする。	①聞き手に正確に伝わるように, 表やグラフを表現することができる。	①プレゼンテーションの原稿を読んで, そこに書かれている事実を読み取ることができる。	①比較級, 最上級, 同等比較, 副詞の比較級・最上級に関する知識を身につけている。

6 指導と評価の計画

全13時間 (本時は12/13)

次	学習内容 (時数)	主な学習内容				資質・能力の評価 (評価方法)	
		関	表	理	知		
1	GET Part 1 課題の設定 (3)				◎	・ ~er than …, the ~est in(of) … に関する知識を身につけている。	②表現力 (ワークシート)
2	GET Part 2 課題の設定 (3)				◎	・ more ~ than …, the most ~ in(of) …に関する知識を身につけている。	②表現力 (ワークシート)
3	GET Part 3 課題の設定 (3)				◎	・ as ~ as …, better, best 等の不 規則変化の形容詞・副詞に関する 知識を身につけている。	②表現力 (ワークシート)
4	USE Read 情報の収集 (1)			○		・ プレゼンテーションの原稿を 読んで、そこに書かれている事 実を読み取ることができる。	
5	USE Speak 整理・分析 まとめ・創造・表現 実行 (2) 本時 2/2	○			◎	・ 聞き手が理解しやすくなるよ うに工夫してプレゼンテーショ ンしている。 ・ 聞き手に効果的に伝わるよ うに、 クラスで人気のあるものにつ いてプレゼンテーションするこ とができる。	②表現力 (ワークシート, 行動観察) ④協調性 (行動観察)
6	文法のまとめ 振り返り (1)				◎	・ ~er than …, the ~est in(of) …, more ~ than …, the most ~ in(of) …, as ~ as …, better, best 等の不規則変化の形容詞・ 副詞に関する知識を身につけて いる。	

7 本時の展開

(1) 本時の目標

表やグラフをつながりのある英文で表現することができる

(2) 観点別評価規準

◎聞き手に正確に伝わるように、表やグラフを英文で表現することができる。【イ①】

評価方法：発表、行動観察、ワークシート

(3) 準備物

ワークシート、大型テレビ、ノートパソコン、辞書、写真、ホワイトボード、マーカー

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (■) (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	○育成しようとする 資質・能力 ●教科の評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ (調子, 日付, 曜日, 天候, 時刻の確認) ○インプットシート (口頭練習) ○パターンプラクティス (ICT:口頭練習) ○本時の目標の確認 <p style="text-align: center;">課題の設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆発音が定着していない生徒の進捗状況を見て, 該当生徒のそばにつき, 助言等をして支援する。 	
<p>【本時の目標】 表やグラフをつながりのある英文で表現することができる</p>			
展開	<p>個人思考</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ワークシート① <p>集団思考</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ワークシート② <p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現</p> <p>○発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■個人思考 (英文作成) →ペア活動 (相互確認) をさせる。 ◆文法事項が定着していない生徒の進捗状況を見て, 該当生徒のそばにつき, 助言等をして支援する。 ■机間指導をして, 各グループの進捗状況を把握し, 使用文法や間違いの指摘等の助言をして支援する。 ■文章の内容につながりがあるかどうかを確認し, 助言をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ④協調性 (行動観察) ペアやグループで, 互いの良さや改善点を指摘し合うことができる。 ②表現力 (ワークシート, 行動観察) 比較表現を用いて, つながりのある英文を3文で表現することができる。

ま と め	○本時の振り返り	振り返り	■比較表現, 英文の構造について, 生徒作成文を使って, 音読練習をさせたり, 構文を確認させたりする。	●比較表現を用いて英文を書けるようになった。
	○次時の連絡			

(5) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評 価 基 準
② 表現力	A 比較表現を用いて, つながりのある英文を5文以上で表現することができる。 B 比較表現を用いて, つながりのある英文を3文以上で表現することができる。 C 比較表現を用いて, 英文を3文で表現することができる。

資質・能力	評 価 基 準
④ 協調性	A ペアやグループで, 互いの良さと改善点を指摘し合い, 自分の発表に取り入れることができる。 B ペアやグループで, 互いの良さと改善点を指摘し合うことができる。 C ペアやグループで, 互いの良さ, または改善点を指摘し合うことができる。

(6) 板書計画

January 20 th	Today's Goal	表やグラフをつながりのある英文で表現しよう			
Friday					
sunny 13:30					
表	表	生徒作成文 (グループ)	表	生徒作成文 (グループ)	
生徒作成文 (個人)	表	生徒作成文 (グループ)	表	生徒作成文 (グループ)	
表	生徒作成文 (グループ)	表	生徒作成文 (グループ)	表	生徒作成文 (グループ)